

みやしろ町のいろいろ

宮代町の気になるところを訪問したり調べたり。雑学を交えつつ宮代町のいろいろを見てみました。

◆ 宮代の歴史を垣間見る ～1975年（昭和50年）の宮代～ [国土地理院の航空写真より]



今号の「まちの皆様インタビュー！」では、宮代町の老舗蕎麦屋「前野屋」の店主・須藤貞志さんにお話を伺いました。その中で「東京から宮代に越してきて思ったのは、とにかく周辺に家がなく、そこらじゅう空き地だらけだったということ。」という話がたので、本当のところどんな感じだったのか確認すべく、須藤さんが越してきた1974年に近い年の航空写真を見てみました。

見た感じ…確かに前野屋がある中央や、学園台・本田・笠原・須賀あたりには家がありませんね。進修館も東武動物公園もないので、今の地図に見慣れていると寂しい感じがします。一方で杉戸町や百間、宮代の方は、家が密集しています。当時の杉戸や百間新道は賑わっていた、とよく話に聞きますが、この地図でみると納得です。

なきじんせん 今帰仁村だより

このコーナーでは進修館と交流のある沖縄県今帰仁村との交流の様子やさまざまな情報をお届けします。

進修館では今帰仁村中央公民館との交流がきっかけとなって、今帰仁村のみなさまとの交流が広がってきています。今回はそのご縁の一部をご紹介します。

進修館だよりで今帰仁村をご紹介しているこのコーナーについて、今帰仁村の広報紙「なきじん」2024年4月号でご紹介いただきました。記事では、進修館と今帰仁村中央公民館が同じ象設計集団の設計により建設されたことや、共に「自らの地域を自らの手で作り上げていく」自力建設・地域主義の理念が込められた設計であることが書かれています。

また、先月号の本コーナー掲載記事への協力をきっかけに、今帰仁村歴史文化セン

ターとのご縁がつながりました。歴史文化センターは、世界遺産に認定されている今帰仁城跡に隣接しており、今帰仁城跡から発掘された出土品や今帰仁の歴史に関する展示のほか、集落ごとの生活文化に関する物品資料が展示されています。19の集落それぞれの特色をまとめた展示もあり、今帰仁村を知るためにはぜひ訪れたい施設です。今後このコーナーでは、今帰仁のみなさまのご協力のもと記事を作成していきます。どうぞお楽しみに！

19の集落の特色が展示されているコーナー。とても多彩です。

各集落の展示では、地区ごとの歴史や特色がわかります。



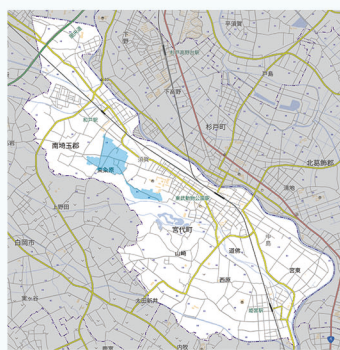
地区自治会におじゃまします！

このコーナーでは、宮代町内の地区・自治会の取り組みや地域の特色などをお届けいたします。

◆ 東条原自治会

自治会情報 [東条原自治会]

- 【構成】
- 第1地区
- 46世帯
- 第2地区
- 103世帯

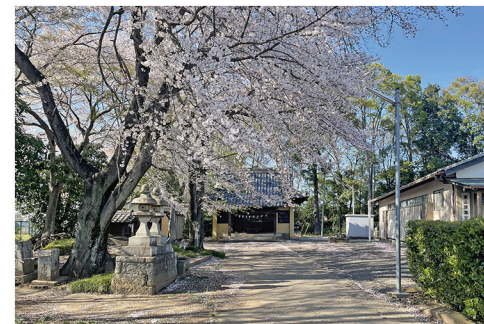


屋敷林が点在し、緑豊かな風景が広がる東条原地区。延享2年（1745）ごろが起源とされる東条原鷲宮神社を擁する東条原自治会でお話を伺いました。

東条原地区は、中世（鎌倉・室町時代）の奥州への本堂である鎌倉街道（中道）が通っている、歴史ある地域です。このため、自治会組織が発足する以前から、地域の人は氏子として鷲宮神社の運営を助ける役割を担い、氏子の代表者として選ばれた氏子総代という世話人を中心に、鷲宮神社で行われる1月1日の元旦祭、7月16日の獅子舞、10月7日の甘酒祭など大きな行事のほか、境内の清掃などを通じて神社を支えています。こうした背景から、東条原地



【鷲宮神社の鳥居】
地域の協力で再建された鳥居。日ごろの関係構築の賜物でもあります。



【神社境内】
夏祭りの他、花見なども行われる鷲宮神社境内には、集会所もあります。

区の自治会活動は、鷲宮神社の行事ともかかわりが深いようです。鳥居の老朽化による再建にあたっては、氏子へ再建計画を説明したうえで寄付を募り、2024年2月に完成しましたが、その際の計画の進捗状況や収支明細などの情報共有は自治会の回覧が活用されています。

地域の力が育まれてきている東条原地区ですが、自治会の区域の中で小学校区が分かれているなどの理由から、日常的な交流が取りにくい地域もあります。また他の自治会同様、自治会離れなどから、活動のための財源確保も難しくなっている現状があり、組織の見直しが議論されていることです。かつてから東条原地区では、

実行委員を募って夏祭りを開催し、地域住民の交流を図ってきましたが、コロナ禍の影響で中止を余儀なくされていました。コロナが5類に移行した昨年夏に再開を目指して実行委員を募りましたが思うように集まらず、実現できませんでした。そんな中、新たにこの地区に居住した人から「ぜひ夏祭りを開催したい」との声が上がりました。規模は小さくとも、子どもたちが楽しめる催しができたらと、これから実行委員を募り、準備を始めるとのことでした。

お話を伺った役員さんが、「地域の伝統や美しい風景など、東条原には誇りに思えるものがある」と話してくださったことがとても印象的でした。

みやしろ公園 再発見！

宮代町内にはところどころに小さな公園があります。お散歩や子育てに。あなたの知らない公園を再発見！

◆ 古利根川児童公園

公園情報 [古利根川児童公園]

住所：川端765-1
遊具：滑り台、ブランコ、砂場
休憩：ベンチ、水道あり。トイレなし。

姫宮駅東口から徒歩16分。距離にすると、駅から約1.2kmのところにある公園。周辺に商業施設はほとんどなく、裏手は大落古利根川沿いの遊歩道。周辺の道が細いので、

車で訪問は不可（停めるところがない）。よって徒歩か自転車での訪問となります。そんな感じなので、人の気配がほとんどない少し寂れた雰囲気公園となっています。ただ、裏返して考えると、騒がしくなく、人がいないから、ほとんど貸し切り状態になるので、ゆっくりくつろいだり、お子さんと気兼ねなく遊ぶにはもってこいの公園とも言えます。ちょっとした遠足気分でも、お子さんとお出かけするのでもいいかも。



住宅地から離れた場所にある公園。徒歩圏内には宮東グラウンドとテニスコート、蕎麦屋があるくらい。コンビニまでは結構距離があります。その分、ゆったりとした雰囲気を楽しめます。



ブランコと滑り台



砂場は機能していないかも…



滑り台からの眺め



「水道あり」は嬉しい♪